英語1B
(English 1B)

担当教員
講師　藤原 由美

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
外国語	1年次 後期	講義	1.5単位	必修

【概要】

The New York Times / The Guardian / The Timesなど内外の有力媒体から厳選された記事を学習素材として、リスニング能力、語彙力、リーディング能力、ライティング能力の養成を行います。環境破壊、歴史問題、銃規制やネット環境をめぐる問題、児童労働、ジェンダーなどのテーマを取り上げます。これらのテーマについて英語で掘り下げ、理解を深めるとともに、自ら考えられるようになることを目指します。
受講生の理解度および関心に応じて、教科書から取り上げるテーマを一部変更する場合があります。
この授業は全て対面授業で実施します。

【授業の一般目標】

・リスニング能力、語彙力、リーディング能力、ライティング能力を高める。
・時事問題にかんする英語記事を講読する習慣の基礎をつくる。
・現代社会の様々な問題に関心を寄せ、自ら考えることができる。

【準備学習(予習・復習)】

学習項目にあげた教科書の各章の予習も含め、準備学習には１週あたり150分程度の学習が必要です。

時事問題を扱う授業の性質上、シラバスには記載がないテーマの深め方、拡げ方、学び方を採用することがあります。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	はじめに Chapter 6: Pakistan Girl Shot by Taliban Defied Threats for Years	今井 藤原	授業の方針や進行方法について把握する。 英語の記事を読み、内容を理解できる。記事にかんする会話を視聴し、内容を理解できる。
2	Chapter 6のつづき	今井 藤原	新しく獲得した語彙および表現を使いこなすことができる。テーマについて自ら考えることができる。
3	Chapter 2: Millions of Dogs, Cats Coddled, 200,000 Gassed Each Year in Pet-mad Japan	今井 藤原	英語の記事を読み、内容を理解できる。記事にかんする会話を視聴し、内容を理解できる。
4	Chapter 2のつづき	今井 藤原	新しく獲得した語彙および表現を使いこなすことができる。テーマについて自ら考えることができる。
5	Chapter 12: Don’t Gamble with the Environment	今井 藤原	英語の記事を読み、内容を理解できる。記事にかんする会話を視聴し、内容を理解できる。
6	Chapter 12のつづき	今井 藤原	新しく獲得した語彙および表現を使いこなすことができる。テーマについて自ら考えることができる。
7	中間まとめ	今井 藤原	前半で学んだChapter 6, 2, 12の内容と語学的課題を実践的に活用できる。
8	Chapter 11: New Breed of Single Fathers Should Be a Model for Men across Japan	今井 藤原	英語の記事を読み、内容を理解できる。記事にかんする会話を視聴し、内容を理解できる。
9	Chapter 11のつづき	今井 藤原	新しく獲得した語彙および表現を使いこなすことができる。テーマについて自ら考えることができる。
10	Chapter 9: Bill to Focus on Video Game Violence	今井 藤原	英語の記事を読み、内容を理解できる。記事にかんする会話を視聴し、内容を理解できる。

11	Chapter 9のつづき	今井 藤原	新しく獲得した語彙および表現を使いこなすことができる。テーマについて自ら考えることができる。
12	Chapter 4: ‘They Said When They Capture Me They’ll Cut Out My Tongue’	今井 藤原	英語の記事を読み、内容を理解できる。記事にかんする会話を視聴し、内容を理解できる。
13	Chapter 4のつづき	今井 藤原	新しく獲得した語彙および表現を使いこなすことができる。テーマについて自ら考えることができる。
14	Chapter 3: Lucas and Juno	今井 藤原	英語の記事を読み、内容を理解できる。記事にかんする会話を視聴し、内容を理解できる。
15	総括・まとめ		

	（書名）	（著者・編者）	（発行所）
教科書	Different Perspectives Understanding Current World Issues （英語で読む世界情勢と重要課題）	Bruce Allen / 市岡伸夫 / 岩政伸治 / 岩政裕美子 / 大野美砂 / 坂内太 / 内田均 編著	金星堂

【成績評価方法・基準】

平常点（課題（中間まとめの課題を含む）の取り組み状況、授業への貢献等）50%
定期試験期末テスト　50%

【評価のフィードバック】

期末試験の講評をmanabaを通して公開する。